

0338
0338

回覽

理事

61

第十三警備隊
昭和二十一年二月一日

第十三警備隊 聯合陸戰隊 戰鬥詳報
(自昭和二十一年四月至昭和二十一年八月)

(附) 第十三警備隊 戰鬥概要

第十三警備隊

送付先

第二復員省人事務局長
第三復員省人臨時大異調本部部長
依母保地方復員省人事務局長
第十方面艦隊司令官
第十三根據地隊司令官

220
21 9 3

史實調查部
21.6.24
第 號

0339 2620

一、緒言

- (一) 司令官序文
- (二) 司令官序文

二、戰鬥詳報

- (一) 聯合隊對隊曰第十六警備隊戰鬥詳報
- (二) 曰第十六警備隊 報進 亦戰 概要

三、隊員の消息

- (一) 曰第十六警備隊 准士官以上消息
- (二) 曰第十六警備隊 准士官以上消息
- (三) 曰第十六警備隊 下士官兵消息

一、緒言

司令官官序文

本戦斗詳報、吉田中尉ノ手ニ成レル旧第十六警司令部
 河野康大佐及旧第十七警司令部深見登雄大佐以下
 八百余名ノ勇勇士ノ最後ヲ知ル推ハス無ニハズ決死ナリ
 昭和二十年四月中旬緬甸陸上戦線ノ全面崩潰
 依リ敵ハ陸上及海上ヨリ首都蘭貢ヲ挟撃セリ當時
 陸軍松井兵團ト共ニ蘭貢防衛ニ在リ聯合陸戦隊
 及イラワディデルタ地帯ノ防衛ニ在リ旧第十六警司令部
 遂ニ海上転進不可能トナリ陸軍第三十八軍司令部官ノ指揮
 下戦史未曽有ノ海軍部隊ヲ以テスル数百キハ敵中突
 破ノ陸上作戦ヲ決行スル止ム得ザレズ此ノ間約
 三ヶ月陸上戦斗ニ適セザレ裝備ヲ以テ或ハ無人ノ道ナキ
 山中ヲ彷徨シ或ハ泥濘身ヲ没スル平原ヲ横断シ連日
 豪雨ニ打テテ糧秣欠乏シ屢々頑敵ト交戦シ河
 野大佐以下多数ノ勇勇士ヲ失ヒタルモ七月下旬ヨリ拜
 深見大佐ヲ中心ニ約六百五十名ノ部隊ハ陸軍松井兵
 團ニ追及最後ノ決行セリ

0341

0299

既ニ會員疲勞ノ間、德ノ極ニ達シ途中、日々自決ノ志ヲ出シ、シツモ、マシタレト、街道ニ進出シ、シツト、河ヲ望ム、直前ヨリ有力ナル敵ニ遭シ、速ニ吉田中尉外ニ名ヲ生還ラ見ル、ニミテ、全會員、玉碎ヲ護國ノ鬼ト化セリ。

予、今日ニ至ル迄、日夜神佛ニ祈リ、天祐大奇蹟ヲ信ゼシモ、八百余名ノ部下、將兵ハ、遂ニ還ラズ、血流、傍、沓、然ハ、リ、茲ニ序ヲ、記シ、大東運、戦、争、ノ、最、后、ヲ、飾リ、河、野、珠、見、函、大、法、以、下、護、國、ノ、サ、天、雷、ヲ、對シ、表、ニ、哀、悼、ノ、誠、ヲ、捧、カ、

昭和十一年二月一日

於磯谷

第十三根拠地隊司令官 田中頼三

0342

0300

司令序文

本戦斗詳報ハ日第十二警備隊陸戦隊小隊長海
 軍中尉吉田浩ノ報告ニ據リ成セルモノナリ
 会中尉ハ聯合陸戦隊帰還員計四名中ノ先任者
 ニシテ九月十日モールメン着一月中旬整合ヲ叙シテ帰隊
 セルモノニシテ日第十三警備隊日第十二警備隊
 消息ニ関レ本資料以外他ニ據ル可キモノナキ貴員更
 ナル貴員ナリ

昭和二十一年二月十日

於暹羅國ナミンナヨック

第十三警備隊司令職務執行

海軍大佐 堀江朝茂

二 戦斗詳報

（一）聯合陸戦隊第十三警備隊戦斗詳報

敵状

四月二十日、トングーラ突破セル敵ハ二十四日、トングーラ突入シ、引續キ有力ナル機甲部隊ヲ以テ、マングレシ街道ヲ南
下中ナリ

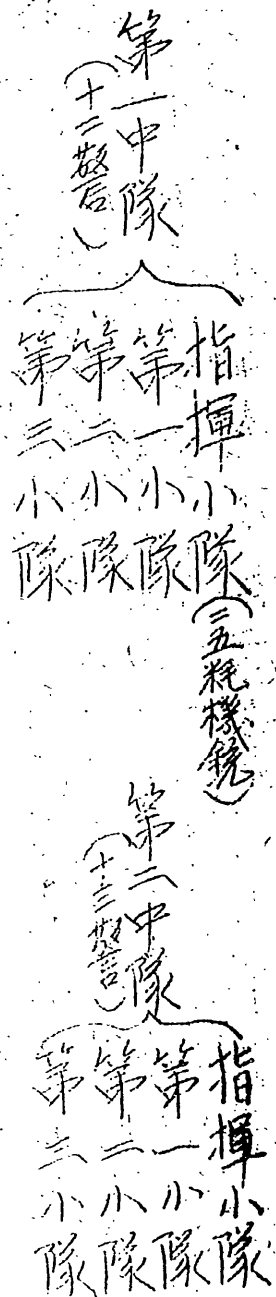
友軍状況（日蘭軍防衛隊松井陸軍少將指揮）

敵兵團ハ此ノ敵ヲ阻止マツコトヲモヤゲシトシ、トングーラ方面ニ進出中ナリ、聯合陸戦隊、敵兵團ノ指揮下ニハ、
「バヤチー」ニ進出シ、敵機甲部隊ヲ邀撃後、レットタン
「ルメン」方面ニ進出セントス。
聯合陸戦隊編成尤ノ如シ

日第十三警備隊司令

河野大佐―本部

- 指揮小隊
- 工務隊
- 医務隊
- 主計隊



四月二十七日二〇〇〇第一中隊(第三小隊欠)ハコクローニ同ヒ先登ル
 四月二十八日第一中隊ハ〇五〇〇ノゲト北方三村ノ地点ニ進出シ主力
 ノ到着ヲ待ツ同日暹ノ陸戦隊主力カハベルトニ進出セル模様
 ナリ同日ハマカレハ隊ニ突破サリ

四月二十九日第三小隊ハ司令ノ命ニ依リマングローレ街道封鎖シ
 命ヲ受ケ地雷九個ヲ敷設シ陣地ヲ構築セリ(聯合
 陸戦隊配備要図別紙一)一七〇〇ノ敵戦車群ヲ発見
 直ニ全員肉薄攻襲配備ニ就テ下ニ戦車群ハ街道ヲ
 通過ス右羽根所陣地ニ進出シ「バグ」友軍陣地ニ射
 レ射撃ヲ開始セリ一九〇〇ノ敵歩兵約四ニテ小隊第一小隊
 正面ニ現レ迫襲砲ヲ接護射撃ヲ受ケツテ遂次ニ前進シ
 来レルモ積極的ニ攻襲スル意志ナクモ如シ
 一九三〇陣地左翼ノ鐵道ヲ通過シ敵ハ次第ニ後方ニ

浸透し来り且ツ砲連次攻撃ニ散レクナリタル爲後方ヨリヤン
グ内ニ避退し斬込ミテ進出備セリ夜入り全員敵戦車
ニ対シ夜襲セルモ戦車ハ既ニ後退セル後ナリ故司令人叩
ニヨリ直サニハグ内ニ向テ引揚テ開始ニ十日早朝完了セリ
人員ノ損傷ナレ

四月三十日

ハ。〇。頃ヨリ終日猛烈ナル戦車砲迫襲砲ノ射撃
並ニフスビットファイヤーニ依ル銃車ヲ受テタルモ損害殆んど皆
無ニシテ全員個人壕中ニ退避攻撃ヲ準備シツテ待機ス
一五〇〇戦車五一六臺直物歩兵ト共ニ正面ヨリ攻襲シ来
レルモ陸軍金子部隊(高射砲隊)ト協力シテ之ヲ襲退ス
一六〇〇頃ニ至リテ「マングレー」街道ヨリ右翼ノ陸軍部隊ハ遂
ニ敵戦車群ヨリ陣地ヲ突破サレ遂ニ後退ヲ開始セリ
一八〇〇頃ニ至リ聯合陸戦隊並ニ金子部隊ハ後方ヲ疲
断サレ遂ニ完全ニ孤立状態トナレリニ〇三〇准士官以上
司令ノ許ニ公認員集合シテ「ヤデー」ノ宮本部隊ト合同
スル爲メ北方ニ向テ脱出計画ヲ決定ス其時敵迫襲
砲ノ集中射撃ヲ受ケ壕内ニ居テ司令ノ深ニ戦死サレ
上機兵芝戦死ニ中ノ小隊長福井中尉同ニ小隊長中

野兵曹中長ハ重傷ヲ負ヘリ尚梅本中尉ニ負傷他輕
傷數名ノ損害ヲ受ク(福井中尉ハ五月五日戰傷死)野中
大尉司令ニ代リテ指揮ヲ取り敢成兵團司令部ニ後退
ス途中再ビ追東砲ノ射撃ニヨリ高木兵曹中長以下十
數名ノ負傷本長朝田ハ五月一日戰傷死セリ

五月一日夜陰ニ粟江ノイーターゴウニ後退員傷者並ニ作隊

醫務隊ニ主計隊ハトラックニヨリ「バウンダー」ニ向ク

五月二日「インターゴウ」ヲ又テ「自道」ヲ通り「バウンダー」ニ向ク

五月四日「バウンダー」到着

五月五日「バウンダー」出發「ラングー」ニ死守ノ命ヲ受ケ「モウビー」

飛行場ニ向フ此ノ自福井中尉戰死(於陸軍病院)

五月八日「ウエルトチマイ」ニ於テ對戰車戰鬥ヲ行ヒタルモ狀況

不利ニシテ且ツ「ラングー」ハ既ニ敵手ニサレケル事判明

「レタル」放「バグー」西北方ク「ノンタウ」ニ向ク

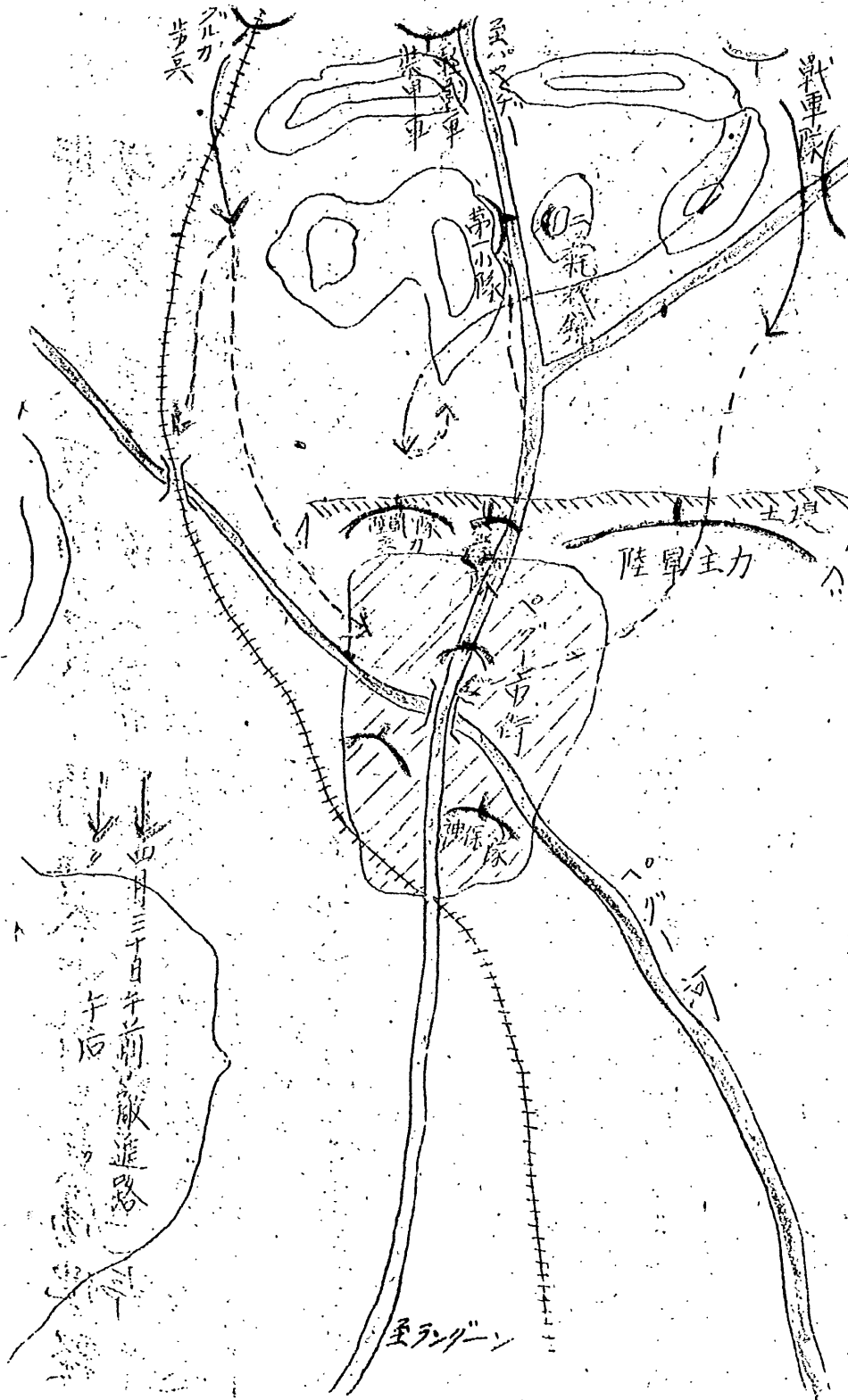
五月十六日頃「マク」又「新落」(タンタウ)南方十軒ニ駐屯シ以

後「コー」ガ「イツ」ヲ據点トシ陸軍佐藤部隊ト協力シテ

遊撃戰ヲ展開ス「エト」ニテ新「入隊」ナリ

六月十日十三號「合同」スルニ北上ヲ開始ス

0347 0305



六月十七日
別紙第一
ポグー河渡河十三夜
ト連絡ス

四月三十日午前敵進路
キ石

至ラングーン

六月十八日「ガッツ」部近ニ駐屯ス此ノ頃ヨリ「マラヤ」

熱並ニ下痢患者急増シ加フルニ銃爆惠ヲ屢ニ蒙リシ為

人員ノ損傷頗ル大ニナリ始々タリ

六月末迄糧食良蒐集ヲナス
七月一日「カイン」渡河ト云フ又テ北上ス

七月八日「ギンビン」十三營ト合同シ上敢威兵団ト共ニ輓進

スル事ニ決定セル爲「ギンビン」向フ

七月十四日「ギンビン」十三營ト合同シ日聯合陸戰隊第一

中隊五作主計「医務隊」ト合同シ独々中隊トナリ聯陸

二中隊ハ十三營第三中隊トナリ

七月十五日「デネー」向フ本日敢威兵団最後端ハ「デネー」通

過ス

七月十七日早朝「デネー」ヲ出發未だ極心ニ向フ途中落伍者自決

スル者頗ルユタク而モ全員極度ニ疲労困憊セル故ニ

收容スル事困難トナリ亦ビルマ野亂軍ノ活動ニ

テ小部隊ノ行動危険トナリ爲ニ收容不可能ノ状態

トナレリ

七月二十三日「アンレビン」西方ヲ赤穂ニ集結ス人員六五〇(当初約八

七月二十四日夕刻赤穂山麓九ノマシタ山街道向ク同日木下迄
大尉以下約八〇名ノ病人ヲ赤穂ニ送留ス

七月三十日コエバ部ヲ集結セルモフスピットファイヤリト十六機ノ銃
爆薬並ニ迫撃砲ノ射撃ヲ出サリ加フルニ叛乱軍ノ態更ニ
受ケタル為ニ損害相當大ニレテ數十名戦死者ヲ出セ
二三〇部ヲ落テ進ヲ開始ス

七月三十一日夕刻ヨリ行動ヲ開始シ此處ノ中ヲ強行軍ニ
テマシタレハ街道ニ向ク道ハナク泥田ノ中ノミヲ
通リレ爲途中心力盡ヤテ倒レルモノ頗ルマタレ其ノ数不
明

八月一日〇五〇〇マシタレハ街道ヲ突破シ(ニアンレヒン北方約七村
ノ地点ト予想セラル)街道ヲ突破セムトシタル時敵守備隊
ノ攻撃ヲ受テ部隊ノ行動頗ル阻害サル

〇五三〇部ニ中隊ハ一部ヲ攻果独立中隊ハ鉄橋ヲ奪
取スレトノ命ヲ受ケ直チニ前進ヲ開始ス独立中隊ヲ
一小隊ハ一小隊主カヲ以テ鉄橋ヲ占領ス後ハ後續部隊
ノ街道突破ヲ援護ス

白州トナルヲ待遊スハキヲレケルモ其ノ用闕地ナリト爲

八月

全員河岸に上り岸際にて戰鬥ヲ續行シツツ東進ス
 独之中队ハ尖兵中队トナリ行動ヲ阻害スル各部脱落
 守備隊ヲ制圧シツツ東進ス
 九〇〇敵ハ戰車自走砲ヲ以テ攻襲シ来リ之カ爲一
 隊ニ中队ハ殆んど全滅ニ至リ又打撃ヲ受ケ且ツ本部
 附近ニ集中射撃ヲ浴ビ副長若菜少佐モ負傷シ
 損害大ニシテ全兵力ノ約半数ノ損害ヲ受ケタルモノト
 想像セラレ
 一四〇頃独之中队長ノ命ニヨリ独之一小隊主力ハ一部
 脱落シ占領後後續部隊ヲ待テタルモ戰車砲迫撃砲ノ
 射撃益々熾烈トナリ遂ニ中队長ト車砲ヲ切断サレ
 ニ至リ夜ニ入りテ之ヲ追ホシテトモ東ニ中队長ト連絡
 フトセラ得バ東進ス十四回中尉以下約四十名(内十三名
 ナタアリ)

三日コレツタン河支流渡河ト東進セントレ川原機曹長
 以下四名先死トシテ渡河セル時敵襲ヲ受ケ渡河不
 能トナリ中止ス川原機曹長以下四名其後行方
 不明

八月三日夜十三營言深見大佐以下の十名ト合同東進ス

聯合陸戦隊狀況不明ナルモ司令ノ言ニヨリハ殆ド壊滅セルモノ如キモ詳細不明ナリ

八月四日一部撤退駐屯セル守備隊ト交戦相當ノ損害ヲ蒙ルヘテ東進強行突破トテ東進ス戦死十数名

八月七日レツタン河畔ニ出ズ其正規兵數十名ト交戦シテ東退ス一七〇〇擲弾筒並ニ迫撃砲ノ射撃ヲ受テ深

見大佐ハ胸部及腹部ニ弾片傷ヲ受テ人事不省ナル他二十三營軍医長以下十数名ノ戦死傷アリ夜ニスリ敵

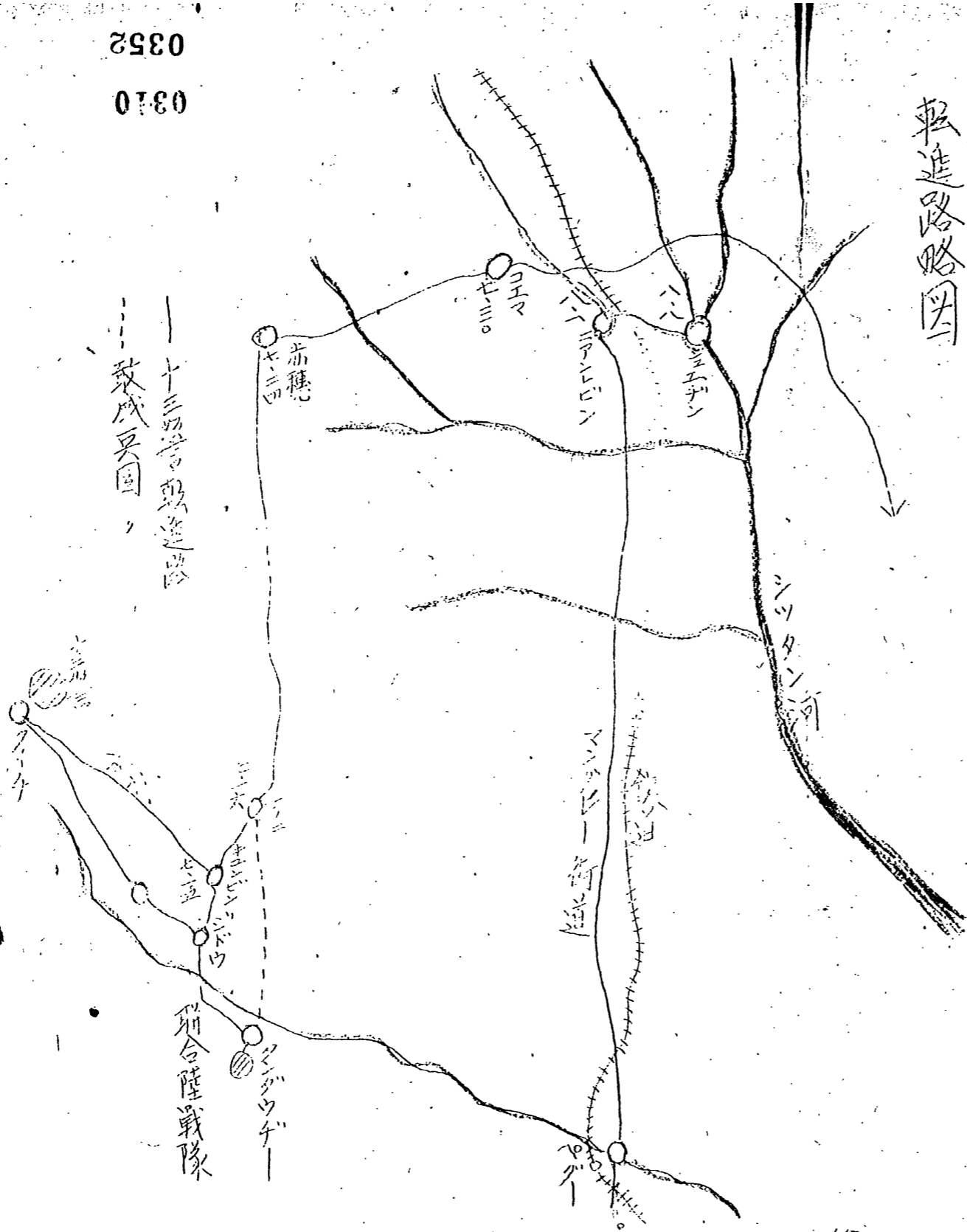
八月八日ハ有力ナル敵ノ包圍攻撃ヲ受テ部隊殆んど全滅セリ提王計少佐ノ言ニヨリハ司令副長モ戦死セルニ

如シ
六〇〇十三營言堤(定歩法)以下十名十三營言吉田中尉以下五名陸軍十一台地ニ集結夕刻ニ至ル迄交戦ヲ續行ス二〇〇一部撤退ヲ告領ス以後連日叛乱軍ト交戦

0352

0310

報進路略図



ス八月十九日十三坂(堤)少佐以下六名「ロックタン」河渡河
 以後行方不明
 八月二十日土田中尉以下五名(内陸軍十人)「ロックタン」河
 渡河
 八月二十四日友軍振武兵團駐屯地ニ到着ス

(四)

日第十三号警備隊転進作戰概要

四月中旬陸戦隊一ヶ中隊約一〇〇名ヲ第十三号警備隊司令ノ指揮下ニ入ラシメ残余部隊ハミヤンマヤミテ転進ノ準備ヲナス

五月十二日大発砲十一隻ニ分束シテ河ヲ逆行シタイチ附近ニ上陸以後バグー山系ニハル目的ニテミヤンマヤミテ出発ス之ヨリ先ニ若菜少佐ノ率ヒル一ヶ中隊ハ上陸地点確保爲先発ス主カノミヤンミンニ附近ヲ通過セル時ビルマ軍ト交戦若干ノ損害アリタルモ其他要狀ナク上陸地点ニ到着スコノ時先発隊ハ敵戦車隊ト交戦シ戦死傷五〇名ヲ出ス依テ直チニ舟艇ヲ海路転進セルムバク引キ取サレテ陸上戦隊ハ二週間分ノ糧食ヲ携行敵中ヲ突破シバグー山系ニハル

五月下旬バグー山系中ノタヒケ附近ニ集結ス

(一) 日第十六 敗言備隊下士官兵ノ部

年月日	場所	備隊	隊員	官職	氏名
七、一五	テニ	行方不明	マラリヤ熱、並ニ下痢ノタメ、 マラリヤ熱ニ下痢ノタメ、 行方不明	上曹	河野春義
八、一五	同	同	マラリヤ熱、並ニ下痢ノタメ、 行方不明	同	飯塚徳男
八、一八	シタン河畔	同	戦中マラリヤ熱、並ニ下痢ノタメ、 行方不明	同	小田村 寛良
八、二二	同	同	同	同	平瀬 隆
八、二八	シタン河畔	同	同	同	小野 勇
七、二六	赤穂	残	マラリヤ熱、並ニ下痢ノタメ、 行方不明	同	清 繁光
七、二八	ガニウ	戦死	マラリヤ熱、並ニ下痢ノタメ、 行方不明	同	高木 時失
八、三	同	行方不明	シタン河畔、渡河中マラリヤ熱、 並ニ下痢ノタメ、 行方不明	同	三谷 益諒

八、一	シタン河畔	行方不明	マラリヤ熱、並ニ下痢ノタメ、 行方不明	同	佐藤 貴揚
七、一五	テニ	戦病死	マラリヤ熱、並ニ下痢ノタメ、 行方不明	同	川原 健一
八、一八	シタン河畔	行方不明	マラリヤ熱、並ニ下痢ノタメ、 行方不明	同	高木 於菟丸
七、一六	テニ	戦病死	マラリヤ熱、並ニ下痢ノタメ、 行方不明	同	馬場 正則
七、一六	テニ	戦病死	マラリヤ熱、並ニ下痢ノタメ、 行方不明	同	石丸 八郎
七、一六	テニ	戦病死	マラリヤ熱、並ニ下痢ノタメ、 行方不明	同	大神 久

八、一	マシクレー 街道	同	同	マシクレー街道 大破後行方不明	同	吉島一三三
七、三	ザンツ	同	戦病死	マシクレー熱 依り戦病死	同	藤田喜一
八、一	マシクレー 街道	同	行方不明	マシクレー街道 突破後行方不明	同	小田楠喜
〃	同	同	同	マシクレー街道 突破前落伍行方不明	同	黒木幸助
〃	同	同	同	マシクレー街道 突破前後行方不明	一機出	宮平忠次郎
七、八	テニー	戦死	戦死	戦死 中興兵トシテ行軍中 マシクレー戦死	同	東 寶男
八、〇	マシクレー 街道	同	同	マシクレー街道 突破後行方不明	同	上 甲利光
〃	マシクレー 街道	行方不明	同	マシクレー街道 突破後行方不明	同	山村繁俊
二	マシクレー 街道	同	同	支流渡河後行方不明	同	下川源一節
七、三〇	コエマ	自決	同	マシクレー 並ニ下痢ノため自決	同	嘉 喜春日光
八、八	マシクレー 街道	行方不明	同	マシクレー 並ニ下痢ノため自決	同	内 田政勝
〃	マシクレー 街道	同	同	支流渡河後行方不明	同	菰 淵政市
〃	マシクレー 街道	同	同	同	同	立 本 忠三
〃	マシクレー 街道	同	同	同	同	土 口 喜子
八、二	同	同	同	同	同	川 端 静雄
七、二六	穂	戦死	同	渡河中溺死	二曹	下 川 秋 穂
七、一	マシクレー 街道	戦病死	同	脚氣並ニマシクレー 熱依り戦病死	同	入 口 穂

八、七	シタ	同	夜間行軍中落伍行方不明	同	横山 実
一	マンダレー 街道	同	マンダレー街道突破後行方不明	同	藤木 秀豊
七、六	ガニツ	戦病死	マラリヤ熱、下痢、ヨリ、戦病死	同	中井上 義則
八、一	マンダレー 街道	行方不明	頭部を負傷、歩行困難、ヨリ、落伍、行方不明	同	白石 稔
七、三〇	コエマ	戦死	マンダレー街道突破前、落伍、行方不明	同	栗田 実
八	ガニツ	戦病死	マラリヤ熱、ヨリ、戦病死	同	長野 司
六、二六	ジドウ	戦病死	マラリヤ熱、ヨリ、戦病死	同	玄石 毅八
七、二五	赤穂	残留	同	同	木原 一雄
三〇	ゴエマ	戦死	下痢、ヨリ、歩行困難、トナリ、戦死	同	古小路 治郎
二七	ハツ	自決	スピットファイマ、銃虫、ヨリ、戦死	同	伊藤 利夫
一六	テニ	戦病死	マラリヤ熱、ヨリ、行動不能、トナリ、自決	同	大津 年春
二五	赤穂	残留	傷、戦病死	同	久多 良木 辰夫
八、一	マンダレー 街道	行方不明	下痢、ヨリ、歩行困難、トナリ、戦死	同	木村 松雄
七、二五	赤穂	残留	マンダレー街道突破後、行方不明	同	矢倉 出石 美
一六	テニ	戦死	マラリヤ熱、ヨリ、歩行困難、トナリ、戦死	同	別 武
一三	赤穂附近	自決	マラリヤ熱、ヨリ、歩行困難、トナリ、自決	同	越 智 道秋
八、一	マンダレー 街道	行方不明	マンダレー街道突破後、行方不明	同	結方 美佐 野

七、五	三ドウ	戦病死	マサトや惣三ヨリ戦病死	同	脇 未雄
八、一	三ドウ	戦死	機銃弾ニヨリ胸部外傷戦死	同	中島 忠雄
八	三河川	同	自衛小銃弾ニヨリシヤングル田ニテ戦死	同	園田 秋良
七、二〇	赤穂附近	戦病死	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦死	同	中野 辰巳
八、一	三河川	行方不明	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦死	同	鬼木 隆昌
七、二二	赤穂	同日	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦死	同	岡村 常徳
六、二七	三ドウ	戦死	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦死	同	野村 常徳
七、三〇	コエ	行方不明	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦死	同	岳田 一男
六、六	赤穂	残留	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦死	同	岡本 興三郎
三、〇	コエ	行方不明	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦死	同	中村 栄宗
八、一	三河川	同	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦死	同	山口 孝一
七、三	コエ	同	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦死	同	内田 敏一
七、三	コエ	同	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦死	同	坂本 能一
六	カント	戦病死	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦病死	同	田内 邦雄
八、一	三河川	同	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦病死	同	山口 孝一
七、一	三河川	行方不明	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦病死	同	武田 勝
七、一	三河川	戦病死	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦病死	同	宮島 貞
八	三河川	行方不明	マサリヤ惣三ニ脚蹴ラリ戦病死	同	井上 好美

七二七	テニヨリ 赤穂	行方不明	報進中落伍行方不明	同	川本芳広
三〇	コエマ	戦死	スピットライヤ銃重傷戦死	同	大館謙次
二五	赤穂	残留	マヨリヤ熱マヨリ歩行不能マヨリ残留	同	津野文夫
八一	衛道	行方不明	マヨリヤ熱マヨリ歩行不能マヨリ残留	同	泉幸利
七、一五	テニ	戦病死	マヨリヤ熱マヨリ歩行不能マヨリ戦病死	同	石川久雄
一六	同	行方不明	マヨリヤ熱マヨリ歩行不能マヨリ戦病死	同	川口守吉
八一	衛道	同	マヨリヤ熱マヨリ歩行不能マヨリ戦病死	同	清原徳
	同	同	同	同	中山長之
	同	同	同	同	毛利正之
	同	同	同	同	中越敏吉
七、二五	赤穂	残留	マヨリヤ熱マヨリ歩行不能マヨリ残留	同	近藤政次
三八	コエマ	行方不明	夜間行軍中落伍行方不明	同	若原美男
八一	衛道	同	マヨリヤ熱マヨリ歩行不能マヨリ残留	同	川上庄之助
二六	ガソツ	自決	マヨリヤ熱マヨリ歩行不能マヨリ自決	同	上村茂穂
八、二	衛道	行方不明	マヨリヤ熱マヨリ歩行不能マヨリ残留	同	徳永
七、二六	赤穂	残留	マヨリヤ熱マヨリ歩行不能マヨリ残留	同	宇都宮甚次
二五	同	同	マヨリヤ熱マヨリ歩行不能マヨリ残留	同	十手野國一
	同	同	マヨリヤ熱マヨリ歩行不能マヨリ残留	同	栗山繁作

生存者

蘭首俘虜収容所

士警准士官 平瀬 隆

兵曹 下川源一郎

? 周本 進

長野 廣

十三警准士官 古屋繁幸

木村政一

坂西辰二

三宅信男

山口新一

薬師寺方吉

吉見正春

トングーヨール収容所

○玉少佐 堤新三

水上曹 清水常雄

水長 周水春雪

清水栄治

十三警 軍属

兵

中山崎 澄夫

中村 秀男

石崎 完

力マイ 徳一

野和 清吉

横峯 鉄夫

上野 正一

以上十八名